

# 公開講座（福祉・医療・教育研究センター）開催報告

## 第1回／平成24年11月2日（金）社会福祉学部 社会福祉専攻

- ▶ 講師／久保田 米蔵 ▶ 参加人数／17名
- ▶ 会場／会場群馬医療福祉大学 2AB 教室
- ▶ テーマ：ノーマライゼーションと共生社会

現在の日本社会は、お年寄りや妊婦、子ども、そして障がい者等社会的弱者に対して住みよく優しい共生社会と言えるでしょうか。法整備もされ改善されつつありますが、まだまだ不十分であり課題もあります。自分自身の問題として皆さんと一緒に考えてみました。



## 第3回／平成24年11月9日（金）ハビリテーション学部

- ▶ 准教授／阿部 真也 ▶ 参加人数／18名
- ▶ 会場／会場群馬医療福祉大学 2AB 教室
- ▶ テーマ：正しい姿勢で健康寿命を延ばそう！

年齢と共に骨量の減少や筋力の低下などの老化現象が起こります。その結果、転倒しやすくなったり、動きたくなくなったりします。当講座では、加齢に伴う姿勢の変化が引き起こす問題や生活を維持す



るための正しい姿勢とは何かを学び、また正しい姿勢づくりのための体操の実演をおこないました。

「上毛新聞」掲載

**正しい姿勢で健康になろう**  
前橋・群馬医療福祉大で講座

群馬医療福祉大（鈴木利定学長）の公開講座が9日、前橋市川曲町の同大で開かれ、同大リハビリテーション学部の阿部真也准教授が「正しい姿勢で健康寿命を延ばそう」と題して講義した。阿部准教授は、椅子に座りながらできる胸の筋肉をほぐす運動や、新聞紙を使った指の運動などをデモバイス。参加した榊毛真一さん（71）は「とても実践してみたい」と話

11月2日に始まり、4日まで全7回で実施。今回は13日午後6時半から関口喜久代教授が、体位変換について講義する。無料問い合わせは同大（2024）へ。

「正しい姿勢で健康になろう」  
前橋・群馬医療福祉大で講座

講演を聴く参加者

## 第2回／平成24年11月6日（火）看護学部

- ▶ 教授／橋本 知子 ▶ 参加人数／24名
- ▶ 会場／群馬医療福祉大学 2AB 教室
- ▶ テーマ：高齢者の睡眠へのヒント

「高齢者の睡眠」ってあるの？こんな素朴な質問をひも解いてみたいと思います。そもそも「睡眠って何？」から始めて発達に伴って異なる睡眠を知って、高齢者になってからの睡眠へのヒントをお話させていただきました。



## 第4回／平成24年11月13日（火）短期大学部 介護福祉学科

- ▶ 教授／関口 喜久代 ▶ 参加人数／24名
- ▶ 会場／会場群馬医療福祉大学 介護実習室
- ▶ テーマ：体位変換は、なぜ必要！！

自分で身体を動かすことが困難な利用者は、肉体的な苦痛や精神的苦痛を感じていることが多いです。人間の身体は凸凹があり、突起している部分に長時間、持続的に圧迫がかかったり、過度な安静等が身体上の弊害を生じたりすることもあります。麻痺や拘縮の状態を把握し、適切なケアについて講義や演習を実施しました。



## 第5回／平成24年11月17日（土）全学部

- ▶ 外部講師／京谷 和幸 ▶ 参加人数／15名
- ▶ 会場／会場群馬医療福祉大学アリーナ
- ▶ テーマ：夢が人を成長させる

今、社会では、将来の夢や目標を見つけることが出来ない人達が増えています。この現状を打開するため、生き方を考え、夢や目標の実現に向け粘り強く取り組む姿勢が求められています。そこで、自分の生き方を見つめ、向上心を養うことなどの意識啓発を目的として、車椅子バスケットボール日本代表でもある京谷和幸さんをお招きし、講演を実施いたしました。



## 第6回／平成24年11月20日（火）看護学部

- ▶ 教授／平賀 元美 ▶ 参加人数／28名
- ▶ 会場／会場群馬医療福祉大学 2AB 教室
- ▶ テーマ：医療現場における事故とその対策

医療現場での事故がニュースになることがあります。どのような事故が起きているのでしょうか。そして、なぜ、事故は起きるのでしょうか。私たちが安全にそして安心して治療を受けるために、病院で行っていること、そして私たちにできることについて理解を深めていただきました。



## 第7回／平成24年11月24日（土）社会福祉学部

- ▶ 学部長／笹澤 武 ▶ 参加人数／18名
- ▶ 会場／会場群馬医療福祉大学 2AB 教室
- ▶ テーマ：長寿とは何か考えよう

日本人の「平均寿命」は、世界でトップクラスですが、今後ますます、健康で自立して過ごせるための「健康寿命」を延ばすことが重要となります。社会保障費の課題等も踏まえ、「長寿」について皆様と考えました。

